

八幡木中学校 これまでの取り組み

令和6年7月5日(金)

第1回 土井先生を招いての研修会

教材:「近くにいた友」

内容:「二分法道徳授業」の進め方を学んだ。

令和6年9月10日(火)

研究授業 成井教諭

教材:「近くにいた友」

内容:「二分法道徳授業」の進め方を実践した。



令和6年2月18日(火)

研究授業 飯塚教諭

教材:「心をつなぐバス」

内容:価値項目をどこまで深めるかについて学んだ。

令和7年6月4日(水)

研究授業 野呂教諭

教材:「缶コーヒー」

内容:本質的な問いでの繰り返し発問について学んだ。

令和7年9月2日(火)

研究授業 西教諭

教材:「銀色のシャープペンシル」

内容:導入の工夫、繰り返し発問について学んだ。

研究体制



授業研究部
部長 成井 健佑



資料調査部
部長 舟橋 岳見



環境整備部
部長 福島 朋美



授業研究部
部長 成井 健佑

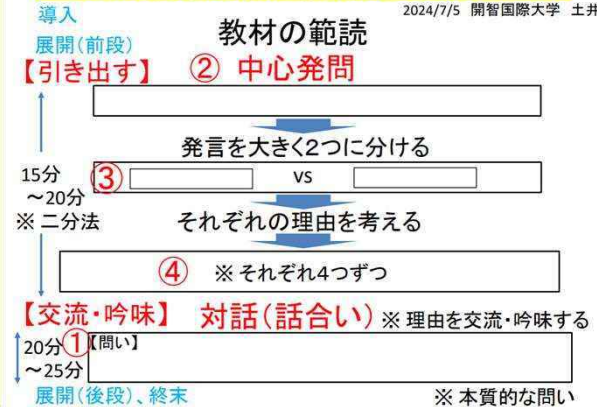
「二分法・本質的な問い」

道徳授業の実践



「二分法・本質的な問い」のある道徳授業の流れ

2024/7/5 開智国際大学 土井



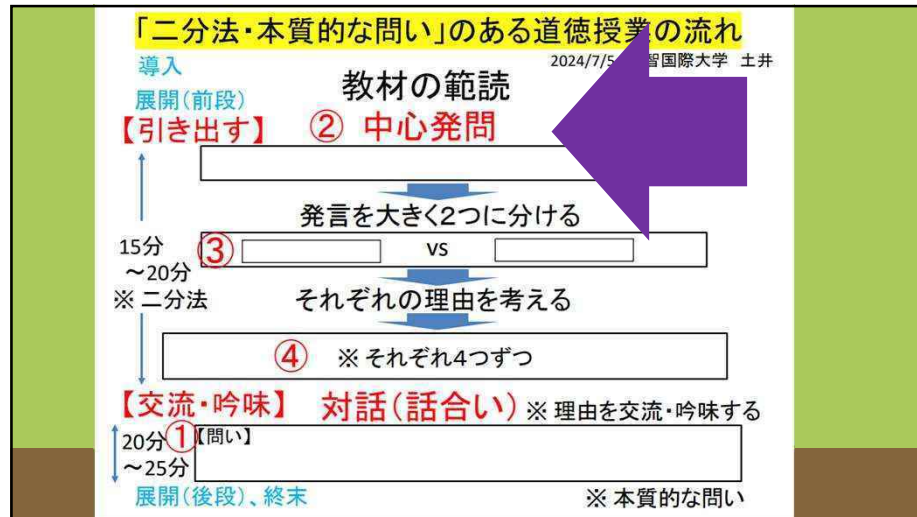
授業の具体例



「銀色のシャープペンシル」

落ちていたシャープペンをポケットにしまった主人公。

「盗っただろ」と友達に指摘され、とっさに「自分で買ったんだ」と嘘をついてしまった主人公の心の葛藤。



～中心発問のシーン～

シャーペンの持ち主だった卓也に疑われていたぼくは、
こっそりその持ち主のロッカーにシャーペンを戻した。そ
の後、卓也はシャーペンを見つけ、電話でぼくに疑ってい
たことを謝る。

中心発問

「卓也の謝る元気のない声を聞いたぼく。心の中はどんな
だろう？」

「二分法・本質的な問い」のある道徳授業の流れ

2024/7/5 開智国際大学 土井

導入
展開(前段)
【引き出す】 ② 中心発問

教材の範読

中心発問では「引き出す」段
階なので、生徒の発言に対し
て切り返しはあまりせず、とに
かく多くの発言を引き出す。



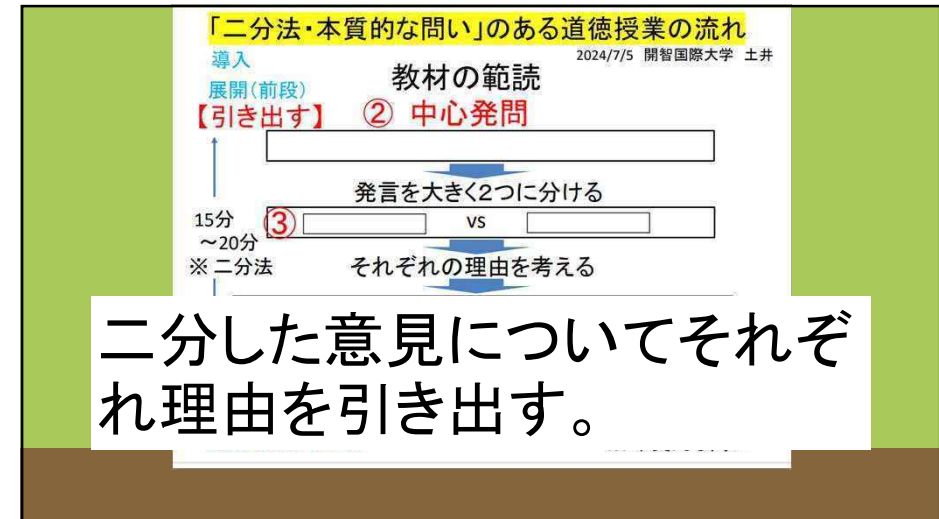
発言を大きく2つに分ける

「卓也の謝る元気のない声を聞いたばく。心の中はどんなだろう？」

→「今さら本当のことは言えない」

「正直に本当のことを言うべき」





「二分法・本質的な問い」のある道徳授業の流れ
2024/7/5 開智国際大学 土井

出た理由について吟味する。
ここで教師が深く切り返し、生徒に考えさせる。

④ ※それぞれ4つずつ

【交流・吟味】 対話(話し合い) ※理由を交流・吟味する
20分①【問い】
～25分
展開(後段)、終末 ※本質的な問い



「二分法・本質的な問い」のある道徳授業の流れ
2024/7/5 開智国際大学 土井

導入 教材の範読
展開(前段) 【引き出す】 ② 中心発問

本質的な問いへ高め、価値項目へ迫る。

【交流・吟味】 対話(話し合い) ※理由を交流・吟味する
20分①【問い】
～25分
展開(後段)、終末 ※本質的な問い



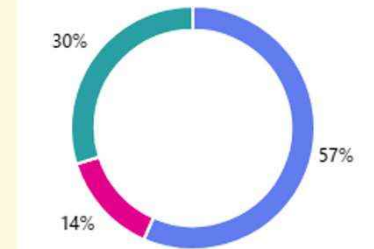


資料調査部

部長 舟橋 岳見

1. 道徳の授業は好きですか？

● 好き	133
● 苦手	32
● どちらともいえない	70



<好き>

- ・ 自分の意見をしっかりいうことができるから。
- ・ 自分のことを見直す時間になるから。
- ・ 道徳には答えがなく自分の思った気持ちを言うことができるから。
- ・ 友達の意見を通して自分にはない考えを知れて面白いから。
- ・ 人とコミュニケーションをとれるし、資料についてみんなで考えるのが楽しいから。
- ・ 自分の意見とほかの人の意見を聞いて自分の意見を深めることができるから。

<どちらともいえない>

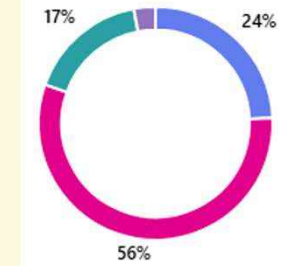
- ・ 共感できることもあるし、それは違うのではと思うことがあるから。
- ・ 自分の考えを出すのが少し苦手だから。
- ・ 話し合いをする内容が難しかったりすると、上手くみんなが意見を言えず話し合いがうまくいかないことがあるから・自分の意見とほかの人の意見を聞いて自分の意見を深めることができるから。
- ・ 面白くもなく何ともないから。
- ・ 物語を読むのは好きだけど、気持ちなどを書くのが苦手だから。

< 苦手 >

- ・ 答えがないことを考えるのが苦手だから。
- ・ あまり自分の意見を言うことが好きじゃないから。
- ・ 考えることが苦手だから。
- ・ 昔自分が失敗した行動などを思い出すから。
- ・ 考えたり話し合ったりするのが好きじゃないから。
- ・ 発言が苦手だし考えるのが難しいから
- ・ つまらないし結論がない。
- ・ 感想や意見を書くのが苦手だから。

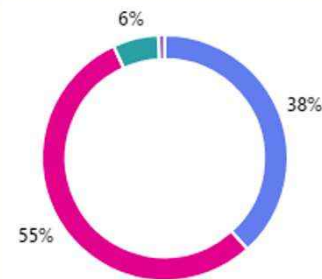
4. 話し合い活動では、自分の意見や考えの理由を説明できている。

● できている	57
● どちらかといえば、できている	132
● どちらかといえば、できていない	39
● できていない	7



3. 話し合い活動では、自分の意見や考えを持つことができている。

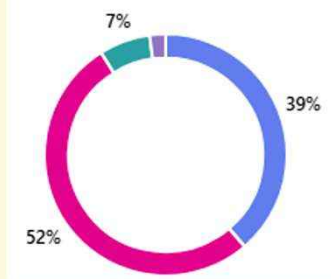
● できている	90
● どちらかといえば、できている	129
● どちらかといえば、できていない	14
● できていない	2



8. 資料と道徳的価値をリンクして考えて授業を受けているか

* 道徳的価値：道徳の授業の最初で話す今回学ぶ内容(価値)

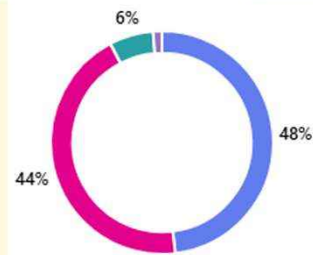
● できている	91
● どちらかといえば、できている	123
● どちらかといえば、できていない	16
● できていない	5



7. 話し合い活動では、友達の意見を聞き、自分の考えを深めることができる。

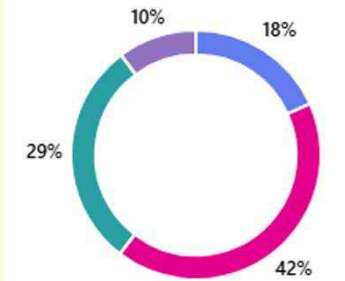
* 自分の考えを深める：人の意見を聞き、自分の考えが強固になったり、違う考えを知ったり、新たな考えになったりすること

● できている	113
● どちらかといえば、できている	104
● どちらかといえば、できていない	15
● できていない	3



5. 自分の意見を発表する時は自信をもって行えている。

● できている	43
● どちらかといえば、できている	99
● どちらかといえば、できていない	69
● できていない	24



アンケートからわかること

積極的な結果

- ・自分の意見や考えを持っている（90%以上）
- ・友達の意見に耳を傾けることができている（100%近い）
- ・友達の意見を聞き、自分の考えを深めることができている（90%以上）

消極的な結果

- ・自分の意見に理由をつけられない（25%）
- ・自分の意見を自信を持って言えない（40%近い）

埼玉県学力学習状況調査結果

埼玉県学力学習状況調査の結果によると...

あいさつ

今の中学2年生 R6 79.3 → R7 87.7

今の中学3年生 R6 82.5 → R7 85.2

埼玉県学力学習状況調査の結果によると...

返事

今の中学2年生 R6 90.0 → R7 94.9

今の中学3年生 R6 85.1 → R7 93.5

埼玉県学力学習状況調査の結果によると...

ていねいな言葉づかい

今の中学2年生 R6 92.9 → R7 95.7

今の中学3年生 R6 89.0 → R7 91.0

埼玉県学力学習状況調査の結果によると...

やさしい言葉づかい

今の中学2年生 R6 87.9 → R7 94.9

今の中学3年生 R6 88.3 → R7 89.7

埼玉県学力学習状況調査の結果によると...

話を聞き発表する

今の中学2年生 R6 82.1 → R7 80.4

今の中学3年生 R6 77.9 → R7 81.9

埼玉県学力学習状況調査の結果によると...

集団の場での態度

今の中学2年生 R6 93.6 → R7 93.5

今の中学3年生 R6 90.3 → R7 93.5

埼玉県学力学習状況調査の結果によると...

掃除・美化活動

今の中学2年生 R6 89.3 → R7 87.7

今の中学3年生 R6 79.2 → R7 85.2

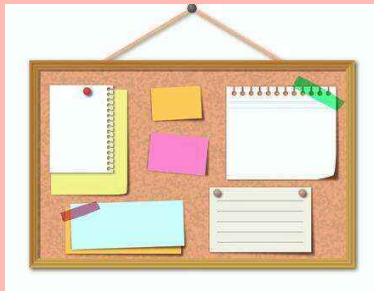
県学テからわかること

積極的な結果

- ・あいさつ、返事・言葉づかいについて学年を上がるごとによくなっている。
- ・話を聞き発表することができる生徒の割合が80%を超えている。

消極的な結果

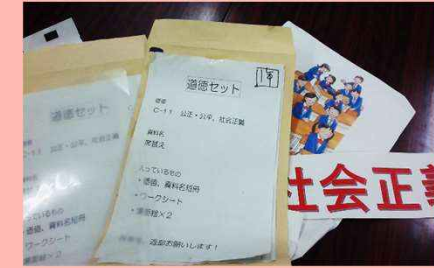
- ・今の2年生に関しては話を聞き発表することができる生徒の割合が減少した。



環境整備部

部長 福島 朋実

道徳セットの作成



道徳セットの作成

各学年
資料ごとに
作成し
いつでも
使えるよう整備



道徳セットの作成



次年度は教科書が
新しくなるため、それに
合わせてさらに整備予定

道徳コーナーの設置



道徳における22の内容価値項目と
「あいそなたさ」の掲示を共通して実施

令和6年度・7年度道徳委編

記入者(飯塚 悠貴)

担当学年(1)

授業で扱う道徳科目(心をつなぐ)

道徳的価値(思いやり)

道徳的価値を践じた場面()

バスの運転手が乗客に対して行っている思いやりについて(声掛けや障がいのある子どもを待つ)

中心発問

作者がバスを降りたくないと思ったのはなぜだろう?

発言を大きく2つに分ける

思いやりは個人に対して行うべき	思いやりは全体に対して行うべき
-----------------	-----------------

本質的問い

思いやりとはなんだろう?

発問シートの作成



「八幡木道徳ニュースレター」の作成・掲示

成果と課題

成果



- ・校内で流れを統一することによってローテーション道徳を実施しても生徒が安心して授業を受けられている。
- ・「どう答えればいいかわかる。知っていることをなぞる。」道徳から、「考え、議論する道徳」へ授業改善することができた。
- ・2分することによって、対話が生まれやすく、生徒もわかりやすい授業展開になった。
- ・校内で4回研究授業を実施することによって、具体的に授業の流れについて学ぶことができた。
- ・八幡木中オリジナルシート「発問シート」を活用することによって教材研究の流れがわかりやすくなり、若い教員も授業準備をしやすくなった。

課題



- ・生徒がこれまで学校で受けてきた道徳授業で培われた価値観をなぞるような授業になってしまうこともまだあるため、授業者の発問を工夫し、さらに価値へ迫る授業を研究する必要がある。
- ・「本質的な問い」をどこに設定し、生徒からの出た答えをもとにどのように深めていくか（繰り返し発問）に重点を置く授業作りをする必要がある。